



市議会だより



- 2～3 P
議会の構成と役割
- 4～5 P
各会派・会派に属さない議員の抱負・取り組み
- 5 P
平成31年3月定例会から
- 6～7 P
代表質問
- 8～10 P
議案の議決結果・議員別賛否報告案件
特別委員会報告から
- 11 P
委員会報告から
- 12 P
議会活動状況
6月定例会日程(案)
議会報編集委員会
編集後記

就任の あいさつ



議長
釣 昭彦



副議長
土遠 孝昌

「平成」から「令和」への改元発表後の御代替わり移行の期間である4月17日開催の第3回臨時会におきまして、議員各位多数のご推挙をいただき、議長、副議長に就任いたしました。身に余る光栄と存じますとともに、これまで培ってきた経験を活かし、公平で公正な議会運営のため誠心誠意努力する所存であります。

さて、5月1日の新元号施行と同時に新しい時代の幕開けとなりましたが、本市におきましても新市長のもと、新しい本市の本格的な始動となりました。

去る3月14日、15日開催の第1回定例会代表質問におきまして、本市議会は新市政に対し、財政健全化への考え方や給食費無償化、企業誘致、病院経営、高取峠のトンネル化、産廃最終処分場計画への対応など市の喫緊の課題や政策を質したところですが、今後も二元代表制の一翼を担う議決機関として、適正な行政運営が行われているか監視し、市議会と行政が緊張感を持ちながら、新元号「令和」に込められた「市民の皆様が夢と希望が持て、穏やかで和やかなくらし」の実現のため、相互に意見を交わし議論を深めていく所存であります。

また、本市議会におきましても、市民の皆様が開かれた議会を目指すため、更なる議会改革の推進に取り組んでいく所存であります。

今後とも、市民の皆様の温かいご理解とご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

議会の構成と役割

新しい常任委員会の構成

(平成31年 4月17日現在※委員は議席順)

総務文教委員会

市政の総合的企画及び調整、定住自立圏構想、防災、危機管理等、広報、行政管理、情報政策、財政及び市税、保育所、幼稚園、小中学校、教育施設、生涯学習及びスポーツ推進、文化財に関する事項などを調査します。



汐江 史朗
委員長
(赤諒会)



西川 浩司
副委員長
(新風)



田淵 和彦
委員
(赤諒会)



山野 崇
委員
(政翔会)



前川 弘文
委員
(公明党)



釣 昭彦
委員
(新風)



エアコン イメージ 市内幼稚園

民生生活委員会

市民活動及び広聴、公営住宅、環境保全、廃棄物の処理及び資源化、健康の増進及び予防衛生、市民福祉、介護保険、国民健康保険、後期高齢者医療、消防、病院事業に関する事項などを調査します。



家入 時治
委員長
(政翔会)



前田 尚志
副委員長
(赤諒会)



土遠 孝昌
委員
(赤諒会)



木下 守
委員
(公明党)



奥藤 隆裕
委員
(新風)



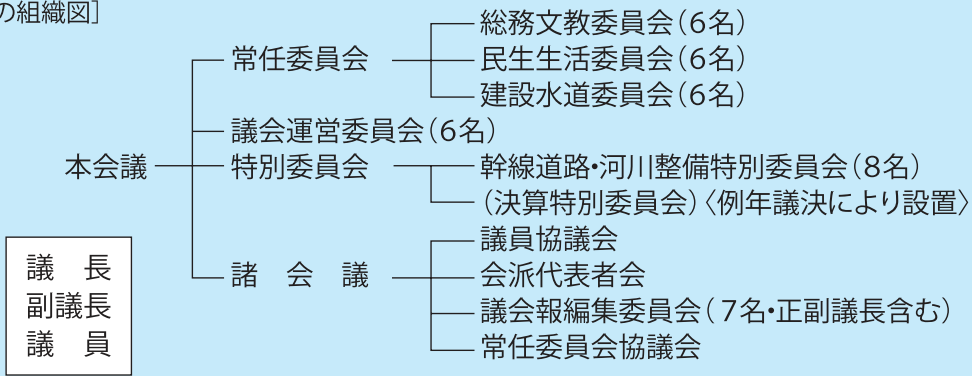
川本 孝明
委員
(日本共産党赤穂市会議員団)



美化センター ストックヤード



[市議会の組織図]



建設水道委員会

道路、橋梁、河川及び港湾、都市計画及び都市計画事業、公園、緑地、土地区画整理事業、農林水産業、商工業、労働行政、観光、企業立地、下水道、水道事業に関する事項などを調査します。



山田昌弘
委員長
(新風)



榊 悠太
副委員長
(赤諒会)



小林篤二
委員
(日本共産党
赤穂市会議員団)



瓢 敏雄
委員
(無会派)



有田光一
委員
(赤諒会)



竹内友江
委員
(政翔会)



野中・砂子公園

議会運営委員会

議会の運営、議会の会議規則・委員会条例、議長の諮問に関する事項などを調査します。

- | | |
|----------|-----------|
| 委員長 有田光一 | 副委員長 奥藤隆裕 |
| 委員 田淵和彦 | 委員 小林篤二 |
| 委員 木下守 | 委員 家入時治 |

その他の役職

- 監 査 委 員 山 野 崇
- 安室ダム水道用水 汐江史朗
供給企業団議会議員 釣 昭彦
- 赤相農業共済事務 土遠孝昌
組 合 議 会 議 員 山田昌弘
- 赤穂市都市計画 榊 悠太
審 議 会 委 員 山 野 崇
小 林 篤二
木 下 守
西 川 浩司
- 赤 穂 市 環 境 田 淵 和彦
審 議 会 委 員 家 入 時治
山 田 昌弘

幹線道路・河川整備特別委員会

幹線道路・河川整備に係る取り組みや国道250号高取峠トンネル化に向けた調査・研究・要望などを関係機関に行います。

- | | |
|----------|-----------|
| 委員長 前川弘文 | 副委員長 田淵和彦 |
| 委員 榊 悠太 | 委員 前田尚志 |
| 委員 小林篤二 | 委員 西川浩司 |
| 委員 家入時治 | 委員 山田昌弘 |



各会派の抱負・取り組み

赤 諒 会

人にやさしい赤穂のまちづくりを！

代 表 田 淵 和 彦 政 調 会 長 榊 悠 太
 会 計 前 田 尚 志 会 員 有 田 光 一
 会 員 汐 江 史 朗 会 員 土 遠 孝 昌

人口減少と少子高齢化から生じる問題は、市内どの地域も抱えています。
 赤諒会は、市民が安全に暮らせる生活環境づくり、子育て世代や介護世代、高齢者や障がいのある方が、生活しやすい赤穂のまちづくりに取り組みます。

新 風

安心して暮らせる街に継続して取り組みます

代 表 山 田 昌 弘 幹 事 長 奥 藤 隆 裕
 会 計 西 川 浩 司 会 員 釣 昭 彦

子ども子育て、高齢者福祉対策等が急務となっています。また、近年では想定を超える自然災害が頻発しております。被災地を垣間見ると行政の素早い対応の大切さを痛感します。党派としても、市民の皆さんが安心して生活が出来る体制に、取り組んでまいります。

政 翔 会

「ストップ・ザ人口減少、結婚、定住・移住」

代 表 家 入 時 治 会 計 山 野 崇
 会 員 竹 内 友 江

急速に進展する少子高齢化社会と人口減少！人口の少ない若者層の既婚率を高めることが少子化対策の第一歩でしょう。また、若者の定住や赤穂市への移住を促進するため、市民の皆様と一緒に知恵を絞り、赤穂の魅力の周知や情報発信の提言、活動に取り組んでまいります。

日本共産党赤穂市会議員団

市民の暮らし第一に福祉優先の市政めざして全力

団 長 小 林 篤 二 会 計 川 本 孝 明

消費税10%増税、年金は減らされ、医療・介護の負担増、子育ての負担も大変です。景気回復の実感はありません。将来への不安は増すばかりです。このような時だからこそ、平和を守り、市民の暮らし応援の市政が求められています。引き続き「暮らしと福祉第一に」全力でがんばります。

公 明 党

新時代、さらに安心して活力あるまち赤穂を

代 表 木 下 守 会 計 前 川 弘 文

新時代の幕開け、市民生活の向上と安心して活力あるまち赤穂への確実な一歩を積み重ねていきたい。子どもから高齢者までの幅広い世代の生活課題やニーズ、また、事業者が抱える課題を対話により把握し、その解決策を探るべく行動し、議会で提案、そして、国・県へも政策要望していく。



会派に属さない議員

瓢 敏雄

新時代、気持ちも新たに課題に取り組みます

時代は平成から令和へ、そして、市の体制も大幅に変わろうとしています。議員15年目を迎える今年は会派に属さない議員として活動を行います。伝統や文化を大切にする保守の精神を基本に、気持ちも新たに一つひとつの課題に取り組んでいきます。

平成31年3月（第1回）定例会から

平成31年3月（第1回）定例会を、3月1日から3月27日までの27日間の会期で開催しました。

今期定例会では、3月1日に平成30年度関係議案、4日に平成31年度関係議案について市長の施政方針を含む説明を受け、3月7日に平成30年度関係の7議案を可決し、3月15日に平成31年度関係追加議案の説明、3月27日に平成31年度一般会計予算、各特別会計予算、各事業会計予算、条例の制定等26議案並びに赤穂市副市長の選任についての人事案件を、いずれも原案どおり可決・同意し閉会しました。

なお、3月14日、15日に、市長の施政方針に対して会派代表5名の議員が代表質問を行いました。

（代表質問の詳細については、6～7頁参照）

各会計予算

会計区分	平成31年度	前年度比
一般会計	208億4,000万円	85.0%
特別会計	109億6,280万円	99.6%
小計	318億280万円	89.5%
病院事業会計	114億4,017万8千円	95.8%
介護老人保健施設事業会計	3億7,466万5千円	89.1%
水道事業会計	20億6,272万9千円	105.5%
下水道事業会計	54億5,311万3千円	99.5%
合計	511億3,348万5千円	92.4%



【3月（第1回）定例会の詳細日程】

- 3月
- 1日（開会）
- 平成30年度関係議案（説明）
 - 財団法人等の平成30年度事業計画変更の報告（説明、質疑）
- 4日・平成31年度関係議案
- （説明）施政方針、予算編成方針を含む
 - 財団法人等の平成31年度事業計画の報告（説明、質疑）
- 7日・平成30年度関係議案（質疑、討論、表決）
- 14日・代表質問（赤諒会・新風・政翔会）
- 15日・代表質問続行（公明党・日本共産党赤穂市会議員団）
- 平成31年度関係議案（説明、質疑、委員会付託）
 - 平成31年度追加議案（説明、質疑、委員会付託）
- 18日・民生生活委員会・協議会
- 19日・建設水道委員会・協議会
- 22日・総務文教委員会・協議会
- 27日・平成31年度関係議案（委員長報告、質疑、討論、表決）
- 請願（委員長報告、質疑、討論、表決）
 - 平成31年度追加議案（説明、質疑、討論、表決）
 - 人事案件（説明、質疑、表決）
 - 幹線道路・河川整備特別委員会付託事件（委員長報告、質疑）
 - 協議会
- （閉会）

市政の課題 将来の展望を

3月14日、15日に計5名が登壇し、市政の課題や将来の展望に対する考え方について、代表質問を行いました。



ただ

質す

高取峠トンネル化実現のための事業効果検証について

赤諒会代表 前田尚志 議員

問 国道250号高取峠トンネル化の実現のため、平成30年度に引続き予算が計上された。その内容は事業効果の検証であるが、検証はいつ・誰が・どの様にするのか、検証にはトンネルルートの設定が必要ではないか、検証は広域で実施するのか、市長のこれまでの経験、人脈をどう生かそうとしておられるのか。

答 事業効果の検証は平成31年度において本市が実施し、トンネルの整備及び整備後の維持管理に必要な費用や整備により得られる便益費用を比較した中で、費用対効果を検証する。なお検証に当たり、トンネル整備費等を算出するため、3つの概略ルートを設定する予定としている。また、こうした検証は本市で実施するが、概略ルートの設定については、相生市と協議し検討したい。これまで県職員として勤めた経験と人脈をフルに活用しながら、県との信頼関係を築き事業化に向け、粘り強く要望していきたい。



中学校部活動の廃部と運動部活動のあり方について

新風代表 釣 昭彦 議員

問 近年、中学校部活動の廃部が問題となっている。部員不足、あるいは部活動の指導者が居ないことが問題なのか伺う。部活動における指導者のあり方や練習管理の問題を解決する為、ICTを活用した部活動支援事業を行うと伺ったが、今後はICTを積極的に利用するのか、外部指導者に任せる体制に変えて行くのか伺う。

答 近年、生徒数が急激に減り、また指導に当たる教員も同様に減少している。こうした中、部活動での生徒の安全確保のため、顧問を1名から2名以上とする複数顧問制が義務づけられ、部活動の維持がより一層困難な状況である。そのため本市教育委員会では、市費による外部指導員配置の方向性を打ち出している。また、部活動の支援としてICTの活用を導入した。これは、運動を行う生徒の技術力向上等を狙うもので全国でも先駆的な取り組みとして成果を上げており、今後も適切な支援を続けていきたい。





塩屋野中線のJRの交差はアンダーか、高架か、或いは平面か

政翔会代表 家入時治 議員

問 野中・砂子土地区画整理事業は、国や市からも莫大な費用がつき込まれている。完成予定が平成35年となっているこの事業を早期に完成させるために、塩屋野中線がJR赤穂線と交差する方式をアンダーパス、或いは高架にするのか。市長は平面交差もできるような発言をされたと耳にしたが、どう解決するのか伺う。

あこう元禄“しお”回廊の構想実現のために整備計画の策定を

公明党代表 木下守 議員

問 あこう元禄“しお”回廊整備基本構想が策定されてより2年となる。構想実現のための整備計画はなく、実現は20年先とも言われている。御崎地区の魅力向上と地域全体の活性化を図るために、御崎地区住民の意向を踏まえて、構想の実現のために、あこう元禄“しお”回廊の整備計画を策定していただきたいがどうか。

憲法を守る姿勢と市内循環バスの拡充について

日本共産党赤穂市会議員団代表 小林篤二 議員

問 市長は、現憲法を守る姿勢を表明されている。評価したい。ぜひ、堅持し市政に生かされたい。市内循環バスの運行財源は、特別地方交付税などで8割が確保される。市民の声を聞き、尾崎北部や御崎東海地区、千鳥などの循環バス運行の範囲・便数を拡充されたい。

答 塩屋野中線とJR赤穂線の交差方式は、都市計画等において、これまでアンダー方式で計画され、国から用地費として補助されている。しかしアンダー方式での施工では、設計で1年、アンダー部分2年・アプローチ部分2年の合計で5年程度を見込み、工事の長期化が予想される。また初期投資や将来的なランニングコストを考慮した中で、平面交差に変更となれば、概算で20億円程度の削減効果がある。なお、平面交差がもし可能となれば、解決すべき課題も多く、その解決のため関係機関と協議を行っていききたい。



答 あこう元禄“しお”回廊整備基本構想をもとに着実に整備を進めることが御崎の活性化につながる。平成29年度は安全・安心の面から防護柵を、平成30年度は魅力アップの面から、きらきら坂等を整備した。今後は、福浦海岸までの防護柵整備や市道御崎加里屋線の舗装改良を予定しているが、昨年度の市長懇談会等で地元の方から色々な意見を聞いている。地元の方がどういったことを本当に望み、整備してほしいのかを十分踏まえた中で、地元との協議が必要となる。平成31年度はそれらを協議、調整し、その翌年度にはそうしたものをまとめていきたい。



答 戦後の我が国の平和は、憲法により守られてきたものと認識している。憲法の改正は、国会をはじめ十分な議論が行われ、県民や市民の幅広い理解を得ることができなければならないと考えている。この考えは、今現在もいささかも変わるものではない。次に市内循環バスは、公共交通の利便性を高めるため、路線バスと共存する観点から運行している。現在路線バスの運行がある尾崎、御崎、千鳥地区での市内循環バスの運行は、困難な面があると考えるが、交通弱者対策等、今後の政策を進める上で、関連機関との調整を図っていききたい。



平成31年第1回定例会提出議案に対する議員別賛否一覧表

賛成：○ 反対：× 欠席：欠

議案等番号	件名	議決結果	汐江史朗	榊悠太	田淵和彦	小林篤二	木下守	山野崇	西川浩司	奥藤隆裕	山田昌弘	前田尚志	土遠孝昌	有田孝一	川本孝明	前川弘文	家入時治	竹内友江	釣昭彦	瓢敏雄	
第3号議案	平成30年度赤穂市一般会計補正予算	可決	議長の ため 表決 には 加わ りま せん。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
第4号議案	平成30年度赤穂市墓地公園整備事業特別会計補正予算	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第5号議案	平成30年度赤穂市介護保険特別会計補正予算	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第6号議案	平成30年度赤穂市駐車場事業特別会計補正予算	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第7号議案	平成30年度赤穂市後期高齢者医療保険特別会計補正予算	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第8号議案	市道の認定について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第9号議案	賃貸借契約の解約に係る和解及び損害賠償の額の決定について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第10号議案	平成31年度赤穂市一般会計予算	可決		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
第11号議案	平成31年度赤穂市国民健康保険事業特別会計予算	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第12号議案	平成31年度赤穂市職員退職手当管理特別会計予算	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第13号議案	平成31年度赤穂市墓地公園整備事業特別会計予算	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第14号議案	平成31年度赤穂市介護保険特別会計予算	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第15号議案	平成31年度赤穂市駐車場事業特別会計予算	可決		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
第16号議案	平成31年度赤穂市後期高齢者医療保険特別会計予算	可決		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
第17号議案	平成31年度赤穂市病院事業会計予算	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第18号議案	平成31年度赤穂市介護老人保健施設事業会計予算	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第19号議案	平成31年度赤穂市水道事業会計予算	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第20号議案	平成31年度赤穂市下水道事業会計予算	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第21号議案	赤穂市介護保険給付費準備基金条例の一部を改正する条例の制定について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第22号議案	赤穂市税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
第23号議案	赤穂市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議長の ため、 表決 には 加わ りま せん。
第24号議案	執行機関の付属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第25号議案	赤穂市職員の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第26号議案	職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第27号議案	議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第28号議案	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第29号議案	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第30号議案	赤穂市消防団条例の一部を改正する条例の制定について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第31号議案	赤穂市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第32号議案	赤穂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第33号議案	赤穂市立駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第34号議案	平成31年度赤穂市一般会計補正予算	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第35号議案	賃貸借契約の解約に係る和解及び損害賠償の額の決定に係る議決変更について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第36号議案	赤穂市副市長の選任について	同意		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願審議結果																					
第1号	「最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書	不採択		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	

3月（第1回）定例会報告案件

報告番号	件名
報 第1号	専決処分の報告について
専 第1号	公用車の交通事故に係る和解及び損害賠償の額の決定について
報 第2号	公益財団法人赤穂市文化とみどり財団の平成30年度事業計画変更の報告について
報 第3号	赤穂駅周辺整備株式会社の平成30年度事業計画変更の報告について
報 第4号	公益財団法人赤穂市文化とみどり財団の平成31年度事業計画の報告について
報 第5号	赤穂駅周辺整備株式会社の平成31年度事業計画の報告について



1月（第1回）臨時会議案の議決結果・議員別の賛否

賛成：○ 反対：×

議案等番号	件名	議決結果	汐	榊	田	小	木	山	西	奥	山	前	土	有	川	前	家	竹	釣	瓢
			江	悠	淵	林	下	野	川	藤	田	田	遠	田	本	川	入	内	内	昭
			史	太	和	篤	守	崇	浩	隆	昌	尚	孝	光	孝	弘	時	友	昭	敏
			朗	太	彦	二	守	崇	司	裕	弘	志	昌	一	明	文	治	江	彦	雄
第1号議案	赤穂市公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※議決結果欄「—」は、議長のため表決には加わりません。

2月（第2回）臨時会議案の議決結果・議員別の賛否

賛成：○ 反対：×

議案等番号	件名	議決結果	汐	榊	田	小	木	山	西	奥	山	前	土	有	川	前	家	竹	釣	瓢
			江	悠	淵	林	下	野	川	藤	田	田	遠	田	本	川	入	内	内	昭
			史	太	和	篤	守	崇	浩	隆	昌	尚	孝	光	孝	弘	時	友	昭	敏
			朗	太	彦	二	守	崇	司	裕	弘	志	昌	一	明	文	治	江	彦	雄
第2号議案	赤穂市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※議決結果欄「—」は、議長のため表決には加わりません。

本会議映像をインターネットで配信しています。

市議会本会議の映像を、ライブと録画により、インターネットで配信しています。傍聴に来られない方は、赤穂市議会のホームページからご覧になれますので、是非ご利用ください。

市議会会議録をホームページで公開しています。

市議会の本会議と委員会の会議録についても、赤穂市議会のホームページからご覧になれますので、どうぞご利用下さい。

議会傍聴のご案内

市議会とはなだでも傍聴できます。市政を身近に知るためにも、議会を傍聴してみたい方がいますか。

手続きは簡単です

（本会議）会議当日、庁舎7階傍聴席入口で、受付簿に住所・氏名等を記入し、傍聴席へお入り下さい。

（委員会）会議当日、庁舎5階議会事務局窓口で、受付簿に住所・氏名等を記入し、傍聴席へお入り下さい。

※撮影、録音、携帯電話の使用はできません。

4月（第3回）臨時会議案の議決結果・議員別の賛否

賛成：○ 反対：× 欠席：欠

議案等番号	件名	議決結果	汐江史朗	榊悠太	田淵和彦	小林篤二	木下守崇	山野	西川浩司	奥藤隆裕	山田昌弘	前田尚志	土遠孝昌	有田孝一	川本孝明	前川弘文	家入時治	竹内友江	釣昭彦	瓢敏雄	
報 第7号 専 第3号	専決処分報告について 赤穂市税条例等の一部を改正する条例の制定について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第37号議案	赤穂市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第38号議案	赤穂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第39号議案	赤穂市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第40号議案	公用車の交通事故に係る損害賠償の額の決定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第41号議案	赤穂市固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第42号議案	赤穂市監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第42号議案「-」：議長のため表決には加わりません。
 // 「/」：自己に関する議案のため除斥。

4月（第3回）臨時会報告案件

報告番号	件名
報 第6号 専 第2号	専決処分報告について 賃貸借契約の解約に係る和解及び損害賠償の額の決定について



特別委員会報告から

幹線道路・河川整備特別委員会

委員会開催状況

平成30年度には、計2回委員会を開催し、第2回目となる8月10日の委員会では、国道250号や赤穂佐伯線等幹線道路及び関連する市内幹線道路の整備状況並びに千種川や加里屋川等の河川整備状況について、当局から説明を受けました。その後委員から、高取峠のトンネル化について、交通量調査の結果と検証について、また千種川地震・高潮対策河川事業等について質疑を行った後、本年度の取り組みについて協議し、県などの関係機関に対し要望活動を行うことが必要としました。

また、委員会終了後、赤穂佐伯線など幹線道路、国道2号相生有年道路並びに河川の現地視察を行いました。

県への要望活動

委員会での協議を踏まえ、10月26日には、市長及び正副議長並びに当委員会正副委員長、県議会議員等の同席により、兵庫県知事、西播磨県民局長外に対し、幹線道路の整備促進に関する要望として、国道250号高取峠トンネル、国道250号の4車線化、県道赤穂佐伯線、高雄有年横尾線について、また河川の整備に関する要望として、千種川、加里屋川の河川改修の事業促進を、砂防えん堤の整備については、山田川、山際川、大鹿谷川の砂防事業の整備促進について要望書を提出しました。

委員会報告から

民生生活

3月18日に開催し、付託された第10号議案関係部分など10議案を慎重審査した結果、第10号議案関係部分、第16号議案、第23号議案については賛成多数で、第11号議案など7議案については、全会一致で原案どおり可決すべきものとされました。

<子ども食堂運営補助事業について>

- 問 補助金額と実施団体数について
- 答 現在、2団体が実施しているが、補助金額を増やさず、実施団体を増やしていく方向である。

<赤穂市病院事業会計予算について>

- 問 寄付講座について
- 答 研究負担金を病院から大学へ支払い、大学から教授を派遣していただく制度である。今回は耳鼻科の常勤医師1名を派遣していただく。

<Net119緊急通報システム整備事業について>

- 問 事業の内容は
- 答 聴覚、言語機能障害者が携帯電話等を用いて、全国どこからでも音声によらない緊急通報が行えるシステムである。

<赤穂市病院事業会計予算について>

- 問 病児・病後児保育について
- 答 実施時間は午前8時から午後6時までで、市内在住の生後6か月から小学6年生までを対象とする。保育士の確保ができ次第、保育を開始する。

建設水道

3月19日に開催し、付託された第10号議案関係部分など6議案を慎重審査した結果、第10号議案関係部分など6議案については、全会一致で原案どおり可決すべきものとされました。

<労働施設整備事業について>

- 問 事業の内容について
- 答 シルバー人材センターの入居する施設において、照明器具にPCBが含まれていることが判明したため、取り換え工事と処分を委託するものである。

<赤穂市下水道事業会計予算について>

- 問 東有年地区農業集落排水施設機能強化工事の内容について
- 答 東有年と有年楢原にある処理場を統廃合するものであり、平成31年度において、東有年の処理場の機能強化工事を行い、数年後に有年楢原の処理場を廃止するものである。

<しおブランド化推進事業について>

- 問 事業の内容について
- 答 「赤穂枅」を活用した「赤穂しお」のプロモーション事業であり、枅づくり体験教室を開催する一方、枅と「しお」、「酒」を使った新メニュー等の開発等を実施する予定である。

<プレミアム付商品券事業について>

- 問 スケジュールについて
- 答 4月に委託事業者を選定し、6月に対象者への広報、7月初旬から申請書の送付・受付、9月に購入引換券の発送、10月に商品券販売・利用の開始となる。

総務文教

3月22日に開催し、付託された第10号議案関係部分など11議案について慎重審査した結果、第10号議案関係部分、第22号議案については賛成多数で、第12号議案など9議案については、全会一致で原案どおり可決すべきものとされました。

<市内循環バス運行事業について>

- 問 路線バス運行地域への活用について
- 答 運行本数の少ない路線バス運行地域への市内循環バスの活用については、市内路線バスとの共存の点から非常に困難であるが、今後関係機関と調整したい。

<運動部活動活性化推進事業について>

- 問 事業の内容について
- 答 専門的技術を有さない教員が担当する部活動に対し、専門的な指導のできる外部指導員を委嘱して指導・補助を行うものと、ICTを活用し専門的技術を有する指導員から指導を受けるものがある。

<保育料軽減事業について>

- 問 給食費の軽減対象について
- 答 幼稚園児の給食費の軽減対象年齢が3歳以上であることから、それに合わせて保育所等においても3歳以上とした。

<給食施設整備事業について>

- 問 事業の内容について
- 答 施設の修繕、大型備品整備、ボイラー更新工事を予定している。現在改築の具体的な計画はないが、老朽化が進んでいることから、今後改築は必要である。

請願の審査（建設水道）

請願1件について慎重審査した結果、賛成少数で不採択すべきものとしました。

<「最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書>

- 直ちに最低賃金を一律1,000円とすることは、特に

- 中小零細企業等においては、非常に負担が大きい。
- 中小企業支援については、国の財政状況からみて、新たな施策を実現させるのは難しい。



議会活動状況

1月／

- 7日・議会運営委員会
・会派代表者会

11日・第1回臨時会

2月／

- 4日・全国市議会議長会第164回社会文教委員会
(東京～5日)

- 7日・兵庫県市議会議長会総会(神戸市)
・国民健康保険運営協議会

8日・播但市議会議長会(たつの市)

- ・議会運営委員会
・会派代表者会

15日・第2回臨時会

- ・相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会講演会

22日・議会運営委員会

- ・会派代表者会

25日・民生生活委員会協議会

3月／

- 1日・本会議 [第1回定例会開会]
(平成30年度関係議案外)

4日・本会議(平成31年度関係議案外)

5日・安室ダム水道用水供給企業団議会(上郡町)

7日・本会議(平成30年度関係議案表決外)

- ・会派代表者会
・議会運営委員会

14日・本会議(代表質問3会派)

15日・本会議(代表質問2会派)

18日・民生生活委員会

19日・建設水道委員会

20日・東備西播定住自立圏推進協議会(赤穂市)

- ・赤相農業共済事務組合議会

22日・総務文教委員会

26日・茨城県笠間市議会議員表敬訪問

27日・本会議 [第1回定例会閉会]

(平成31年度関係議案表決外)

- ・会派代表者会

4月／

3日・会派代表者会

10日・会派代表者会

- ・議会運営委員会

11日・近畿市議会議長会総会(京都市)

12日・播但市議会議長会(姫路市)

17日・第3回臨時会

- ・議会運営委員会
・会派代表者会
・議会報編集委員会

22日・高野産業廃棄物最終処分場現地視察



23日・議会報編集委員会

24日・民生生活委員会

- ・建設水道委員会

- ・総務文教委員会

- ・総務文教・建設水道委員会合同協議会

☆6月定例会・常任委員会の日程(案)☆

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
	本会議 (1日目)				本会議 (2日目)	
16	17	18	19	20	21	22
	民生 生活 委員会	建設 水道 委員会	総務 文教 委員会			
23	24	25	26	27	28	29
			本会議 (3日目) 一般質問	本会議 (4日目) 一般質問	本会議 (予備日)	

※いずれも午前9時30分から開催予定です。

※委員会は原則公開で、開会後の委員会室の出入りは休憩中を原則としています。

議会報編集委員会



委員長 竹内 友江
委員 土遠 孝昌
委員 川本 孝明
委員 釣 昭彦

副委員長 木下 守
委員 前田 尚志
委員 山田 昌弘

編集後記

※「昭和」の創刊に始まり、「平成」を経て「令和」の時代へ！

市民の皆様へ今、ここ「議会」の現状をこれからも発信していきます。